

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.132 2005. 9

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

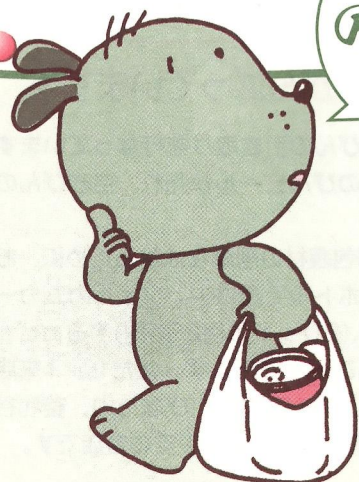


特集

くりかえし使う活きびんは 環境にやさしい容器の王様



- 教えて聞かせて 間伐材を使って森を守ろう --- P3
- リサイクルデザイナー --- P6
- ただいま子育て奮闘中! --- P7
- 第11回リサイクルデザインフォーラム --- P8



(R) びん?



うちの
お父さん
びんビールに
かえたよ。



くりかえし使う
びんって
環境にも
いいんだってね。

くりかえし使う活きびんは 環境にやさしい容器の王様



これが、リターナブルびんのマーク。
環境に配慮した品物を扱う店などで
探してみてください。

昭和50年代の初めまで、液体の容器といえばガラスの“びん”が主流でした。日本酒はもちろんのこと、焼酎、ワイン、ソース、酢、しょうゆと、様々な食品が一升びんで売られ、清涼飲料水もびん入りが主でした。そしてそのびんは、何度もくり返し使われていました。しかし近ごろでは、一度使ったびんのほとんどはすぐに資源化（碎いてガラスの原料にすること）されてしまうようになりました。ガラスはリサイクルにも向いていますが、それよりもリユース（再使用）を優先させたいもの。つい忘れがちな再使用するびん（リターナブルびん）のことを、もっとみなさんに知ってほしいのです。

3Rの優先順位

1 Reduce
まずは
リデュース

不用なものの
発生を抑制する

2 Reuse
次に
リユース

再使用する

3 Recycle
最後の手段が
リサイクル

再び資源化し、
あらたに製品を作る

環境への負荷が最少

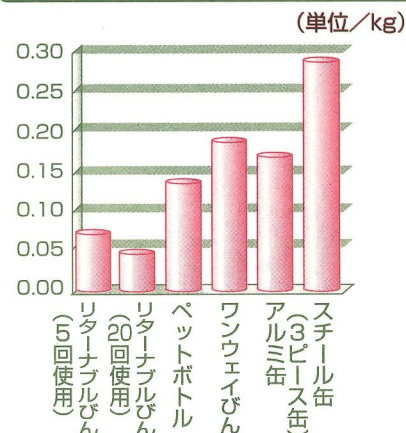
びんは他の容器包装に比べて環境への影響が極めて少ないということが、各種データから明らかになっています。グラフにある地球温暖化物質の二酸化炭素以外にも、大気汚染物質の硫黄酸化物や、生産から廃棄、リサイクルまでのエネルギー消費量もすべてカン、ペットボトルより大幅に少ないのです。

しかし、リターナブルびんはある程度の回数を重ねて再使用しなければ、他の容器や新しく作り直したびんよりもコストが高くなってしまいます。流通している数の9割以上がきちんとリユースされているビールびんは、平均して8年の寿命があり、くり返しの使用回数は20回ほどです。一升びんは平均12から13回、牛乳びんは50から60回再利用されており、コスト低減にも大きく貢献しているというデータがあります。

また、色のついた一升びんやビール

びんは遮光性があり気密性に優れているので、中身の劣化を防ぐという点でも優秀です。よく「やっぱりびんビールは旨いなあ」という台詞、聞きますか？

地球温暖化物質CO2(二酸化炭素)発生量



このグラフは500mlの各種容器における環境負荷発生量を比較したものです
全国びん商連合会HPより

リユースのため、スーパーもがんばっています！

相鉄ローゼンでは、一部の店舗でビールびんの引き取りを行なっています。三ツ境店の場合、1ヵ月に平均150本ほどのびんビールが売れ、空きびんのほとんどが店に返ってきます。

3R情報をもうひとつ。ローゼンでは容器包装材の削減をはかるために、おいしいピュア・ウォーターを専用リユースボトルで提供中。ウェルカムカード会員(入会無料)になり、専用ボトルを購入(2リットル用294円)するとピュア・ウォーターを無料でくり返し持ち帰ることができます。ただし、1来店につき一人1回限定。実施店舗は緑園都市、いずみ中央、ひなた山、釜利谷、十日市場、磯子、白根、上星川、モザイク港北、オルト新子安の各店です。

びん離れをくい止めなくては！

環境には良いけれど、びんは重い、割れやすいというイメージから敬遠されがちです。紙パックやプラスチックボトル、ペットボトルの進出が目覚ましく、流通量は年々減っているのが現状です。そこで、良いところがいっぱいあるびんを何とか守らなくては！と立ち上がったのが全国びん商連合会や日本ガラスびん協会など、びん入りの商品を支えてきた団体です。

ビールメーカーや生協などでは、従来のものより20～50%ほど軽くした

軽量のリターナブルびんを、日本酒造組合中央会では規格を統一した300mlのリターナブルびんをそれぞれ開発しました。これらは「軽くてしかも丈夫」あるいは「使いやすい大きさ」と評判をよんでいます。中身を製造するメーカーが、一社でも多くリターナブルびんを使ってくれるようにと、各団体は熱心に働きかけを進めています。酒屋さんからビールを配達してもらっている人や、生協に入っている人は日常的に使っているでしょうけれど、今はまだ、

一般の小売店ではなかなかお目にかかれないリターナブルびん。多くのメーカーが使ってくれたら、私たちはたくさんさんのびんを週に1回「資源となるもの」に出さなくて良いことになります。

“リターナブルびん入りの商品を選んで買うことが、びん入りは売れないしコストがかかると思っているメーカーを動かす”ということ、忘れないで行動したいですね。

リターナブルびんの流れ



御用聞きが無くなって大きく変わったね

7、8年前までは御用聞きをしていたから、一升びんもそれ以外のびんも、他の店で買っただろう品物の空きびんも、ぜんぶ引き取っていましたよ。コンビニやディスカウントストアができて、酒を自分で買いに行く人が増え、一升びん入りの品の売れ行きが落ち込んできました。びん入りは酒もビールも旨いのにな。びんは味の劣化が少ないってことに、もっと注目してほしいね。
(港北区篠原にある創業以来32年という地酒・篠原屋さんのお話)

町ぐるみでがんばる茅ヶ崎市の商店街

リユースびんの回収システムが整わない、なら、整えちゃえ！と積極的な行動に打って出たのが、茅ヶ崎市の商店街。市内にある100件以上の酒販店や大型店が引き取るのは、一升びんとビールびん、リターナブルびん。購入した店に空きびんを返し消費者と店が協力してリユースを続けることが、町のコミュニケーションの活性化にも役立つかも、と期待されています。

一度使ったガラスのコップ、割らないでしょ

最盛期の昭和52年ごろまでは、一升びんは全国で年間15億本くらい流通していました。それが年々落ち込んで今は3億本くらい。形あるものをわざわざ壊して作り直すなんて、もったいないでしょ。家庭でガラスのコップは何年も使うのに、どうしてびんは使い捨てにするんでしょう。リターナブルびんがもっとたくさん使われるように、PRしていきますよ。

(鶴見区の洗びん屋・丸隆六甲容器(株)宇津木さんのお話)



間伐材を

8月11日

使って森を守ろう

はまっこふれあいスクールの夏のイベント【森からのたより】レポート

横浜市立滝頭小学校（磯子区）

森と海と食べ物とはつながっている……。それだけでなく、空気だってつながっている。言ってみればこの地球上のすべてがつながっている、そんなことを考えるきっかけになりそうなイベントがあると聞いて訪ねてみました。夏休みのド真ん中、日焼けした子どもたちが集まりました。

森の木が「苦しい」って言うてるよ

「今日は、自然の大切さを学びながらの工作教室です。関先生のお話をしっかり聞きましょうね」

滝頭小はまっこふれあいスクールをまとめる小栗先生の第一声で始まったこのイベントには、1年生から5年生までの68名が参加。希望者の多さに、当初予定していた図書室を改め体育館での開催となりました。

「はい、みんな、いいですか？ みんなはこんなに大きな魚を見たことありますか？」と両手を広げて見せる関さん。

「じゃあ、魚を食べたことある人！回転寿司に行ったことあるでしょう？」という「ハイ」「ハイ」と元気な合唱。「でも、最近、魚が減っています。どうしてだろうね」そんな導入で始まったお話は、海の魚が元気に育つためには森からの栄養分が川によって運ばれてくるが必要で、だから漁師さんたちは山に木を植えているんだ、と発展していきました。同じように陸の家畜が食べる草だって、山からの養分をとって育つし、みんなが吸っている空気中の酸素だって木が無くちゃ生まれないということが説明されました。

続いて「では、今、森は元気ですか？」と尋ねると、子どもたちのほとんどが「元気じゃない」との答え。そこで関さん、5人の男の子を前に呼びました。一列に

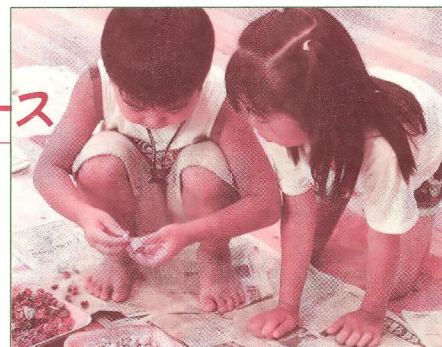
並ばせて「この子たちは木です。しばらくするとみんな大きくなって“きついよー、苦しいよー”となるでしょ。だから、間の2本を切る。すると間がすーすーする。でも、また何年かするとまた大きくなってきつくなるから、また両側の2本を切る。残った1本はのびのびと大きくなっていく。間伐といって、

こうして木を育てるのが日本の林業です。でも、切ってしまった間伐材をちゃんと使ってあげなくちゃかわいそうでしょう。今日みんなが使うのは、その間伐材で作ったお皿です。ほかに、捨てられてしまいそうだった木材のはしっこなんかもあります。これで木のレターケースを作りましょう」



できた！ 自分だけのレターケース

お行儀よく聞いていた子どもたちがにわかに動き出しました。グループに分かれ、材料や道具を受け取り、それぞれが思い思いの工作に取りかかります。木の感触や匂いを確かめながら、イメージを形にしていくなかで、小さな指で爪の先ほどの木っ端を摘み、息を殺して作業に集中します。レターケースを仕上げたあとは、木っ端でいろんなモノ作りが始まりました。アリさんのシーソー、どんぐり、プチトマト、お人形、ロケット……。どんどん生まれて止まりません。最後はできあがっ



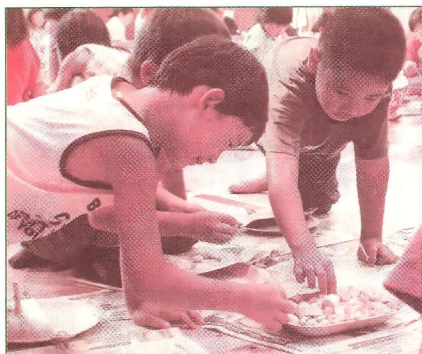
た作品を持って関先生のもとへ。「このくちびるがかわいいねえ」「ここ、よく付けられたねえ」などの寸評がもらいたくて、みんな何分も並んで待ちました。10時から12時近くまで、真夏の体育館での長時間のイベントでしたが、たくさんの笑顔に包まれて幕をおろしました。



出前授業はいかがですか？

関先生こと関邦春さんは、森林組合との連携をはかり、間伐材を使った様々な教材の開発と普及につとめています。子どもたちに森の大切さを知ってもらうため、ボランティアグループ“ナウシカの会”を結成し、学校などで出前授業を行なっています。

何度もくり返し同じ学校に出向くこともあり、授業の内容もいくつかのバリエーションを用意して対応しているそうです。教材や出前授業に関するお問い合わせは（有）ジェイファンネットまで。全国森林組合連合会のホームページにも、詳しい説明があります。



（有）ジェイファンネット／電話045-710-7152
全国森林組合連合会HP／www.zenmori.org



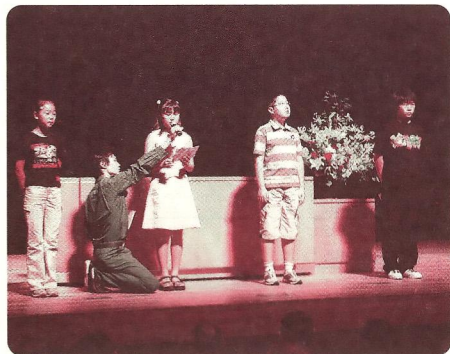
「ヨコハマはG30」作文 (神奈川新聞連載) 感謝状贈呈式を開催しました!

平成15年(2003年)～17年(2005年)に神奈川新聞は市内全小学校の児童による「ヨコハマはG30」作文を連載しました。この度、作文を書いた児童(卒業した現中学生を含む)に横浜市と神奈川新聞社共催で感謝状贈呈式が開催されました。

感謝状贈呈と作文朗読

平成17年7月27日(水)、午前10時より関内ホール・大ホールで行なわれた贈呈式には、作文を書いた小中学生と保護者など820人が参加しました。

作文は、「ヨコハマはG30 みんなの力で」



として、2003年10月21日から2005年5月17日まで360回余にわたって、神奈川新聞よこはま版に掲載されたものです。感謝状は中田 宏横浜市長より、児童代表の本町小学校(中区) 米屋詩絵那さんにわたされました。贈呈式のあと中田横浜市長から「(略)皆さんがこの作文を書く中で、考えたこと、気付いたことを周りの大人・友人にどんどん伝えて下さい。そういった人どうしのつながりが、環境問題を解決する第一歩になると思います。この文集が、環境にやさしい生活スタイルとは何かをもう一度考えるきっかけとなり、皆さんの地球を大切に作る気持ちを育ててくれることを願っています。(略)」と子どもたちへのメッセージがありました。また加藤廉神奈



川新聞編集局長からもあいさつがあった後、4人の児童が舞台上がり、掲載された自分の作文を朗読しました。

記念イベント「廃品楽器演奏～ごみじゃない、鳴らせば楽器」

パーカッショニスト山口とも氏による、廃品から作られた様々なオリジナル楽器の演奏が行なわれ、参加した子どもも大人も、山口さんの音楽パフォーマンスを多に楽しみました。

その他、1階ロビーでは…

●ミーオと遊ぼう!! 風船プレゼント

G30マスコット へら星人 ミーオが登場! ピエロと一緒に動物や剣などいろいろな風船をプレゼント。



●かんちゃん号で収集体験!!

職員手作りのミニ収集車「かんちゃん号」が登場。G30ビデオの上映も行いました。

●G30分別相談コーナー

分別に関する相談、G30に関する相談など。相談ブースは超満員でした。

このイベントは横浜市造園協会の協力をいただき、参加者には受付で花の種がプレゼントされました。

山口とも氏プロフィール

- ・日本廃品打楽器協会 会長
- ・打楽器奏者
- ・写真家



「ガラクタに命を吹き込む打楽器奏者」として活躍中。

「音楽＝音を楽しむこと」をモットーに、子どもから大人まで楽しめる音楽を目指し、オリジナル廃品楽器を使ったパフォーマンス活動で、注目を浴びている。

現在NHK教育テレビ「ドレミノテレビ」に「ともとも」の愛称でレギュラー出演中。

リサイクル掲示板

イベント

●金沢区 9月24日(土) 第24回さわやかカモメ・ フリーマーケット

場所:泥亀公園(区役所となり)

時間:午前10:00~午後2:00

*雨天順延

問い合わせ

金沢区地域振興課資源化推進担当

TEL788-7802

●都筑区 10月1日(土) 消費生活推進員主催 フリーマーケット

場所:センター南前スキップ広場

*雨天時 センター南1回コンコース

時間:午前10:00~午後3:00

問い合わせ 都筑区地域振興係

TEL948-2232

粗大ごみの申込み電話番号が7月1日より、各区専用電話に変わりました。

粗大ごみは 粗大ごみ受付センターに電話またはインターネットで申し込んでください。

◆粗大ごみ受付センター各別電話番号一覧

居住区	電話番号	居住区	電話番号
鶴見	0570-045100	金沢	0570-045190
神奈川	0570-045110	港北	0570-045200
西	0570-045120	緑	0570-045210
中	0570-045130	青葉	0570-045220
南	0570-045140	都筑	0570-045230
港南	0570-045150	戸塚	0570-045240
保土ヶ谷	0570-045160	栄	0570-045250
旭	0570-045170	泉	0570-045260
磯子	0570-045180	瀬谷	0570-045270

※ナビダイヤル(0570から始まる番号)は、一部IP電話の環境によってはつながらない場合があります。つながらない場合には、インターネットでお申し込みください。

受付時間:月~土曜日(祝日を含む)

午前8時30分~午後5時

※月・火の午前中は電話が大変混み合います。ご了承ください。

※申し込み時に収集日・手数料・出す場所などをお知らせしますので、メモしてください。

※間違い電話が大変多くなっています。番号をよくお確かめのうえおかけください。

※FAX 045-290-8908(聴覚障害者専用)

◆インターネット受付(年中無休)

<http://www.sodai.city.yokohama.jp>

資源物拠点回収(センターリサイクル) 9月 ※品目ごとに分別を。事業系ごみは不可。

区	日・時	場所	回収品目	問い合わせ	備考
鶴見	月~土曜日 9:00~11:00	資源循環局鶴見事務所	(詳しくはお問い合わせください) 古紙類(新聞・雑誌・その他の紙) 段ボール・紙パック 古布・プラスチック製容器包装など	資源循環局鶴見事務所 TEL 502-5383/FAX 502-5482	雨天実施
神奈川	第2日曜日 10:00~12:00 月~土曜日 8:30~11:30/13:30~16:30	反町公園(神奈川区役所側) 資源循環局神奈川事務所		エコライフかながわ TEL 413-3196 資源循環局神奈川事務所 TEL 441-0871/FAX 441-5938	雨天実施
西	月~土曜日 9:00~11:30	資源循環局西事務所 1階駐車場		資源循環局西事務所 TEL 241-9773/FAX 251-1791	雨天実施
中	月~土曜日 8:30~11:30/13:30~16:30	資源循環局中事務所		資源循環局中事務所 TEL 621-6952/FAX 625-2932	
南	月~土曜日 8:30~11:30/13:30~16:30	資源循環局南事務所		資源循環局南事務所 TEL 741-3077/FAX 741-6492	
港南	月~土曜日 9:00~11:30/13:30~16:00	資源循環局港南事務所		資源循環局港南事務所 TEL 832-0135/FAX 832-5204	
保土ヶ谷	月~土曜日 8:30~11:30/13:30~16:30 第1、3日曜日 9:30~12:00	資源循環局保土ヶ谷事務所 保土ヶ谷区役所別館 駐車場		資源循環局保土ヶ谷事務所 TEL 742-3715/FAX 742-4931 保土ヶ谷区資源化推進担当 TEL 334-6304/FAX 332-7409	雨天実施
旭	第3日曜日 9:00~12:00 月~土曜日 8:30~11:30/13:30~16:30	資源循環局旭工場 資源循環局旭事務所		資源循環局旭事務所 TEL 953-4811/FAX 953-6669	雨天実施
磯子	月~土曜日 9:00~11:00	資源循環局磯子事務所		資源循環局磯子事務所 TEL 761-5331/FAX 754-6109	雨天実施
金沢	月~土曜日 8:30~11:30/13:30~15:00	資源循環局金沢事務所		資源循環局金沢事務所 TEL 781-3375/FAX 788-0269	
港北	月~土曜日 9:00~11:30/13:30~15:00 第1・第3土曜日 10:00~12:00	資源循環局港北事務所 港北区役所 駐車場		資源循環局港北事務所 TEL 401-3133/FAX 401-6646	雨天実施・車で搬入可
緑	月~土曜日 8:30~11:30/13:30~16:30	資源循環局緑事務所 長坂谷ヤード		資源循環局緑事務所 TEL 983-7611/FAX 982-7973	回収容器を常時設置
青葉	月~土曜日 8:30~11:30/13:30~16:30 第1、3日曜日 9:30~12:00	資源循環局青葉事務所 駐車場		資源循環局青葉事務所 TEL 975-0025/FAX 975-0028	雨天実施
都筑	月~土曜日 9:00~11:30/13:30~16:00	資源循環局都筑事務所前		資源循環局都筑事務所 TEL 941-7914/FAX 941-8409	小雨実施
戸塚	月~土曜日 9:00~11:30/13:30~16:30	資源循環局戸塚事務所 駐車場		資源循環局戸塚事務所 TEL 824-2580/FAX 824-2820	雨天実施
栄	月~土曜日 8:00~11:30/13:30~16:00	資源循環局栄事務所		資源循環局栄事務所 TEL 891-9200/FAX 893-7641	雨天実施・車で搬入可
泉	月~土曜日 8:00~11:30/13:30~16:30 第1日曜日 9:00~12:00	資源循環局泉事務所		資源循環局泉事務所 TEL 803-5191/FAX 803-7951	雨天実施・車で搬入可
瀬谷	月~土曜日 9:00~11:00	資源循環局瀬谷事務所		資源循環局瀬谷事務所 TEL 364-0561/FAX 391-4784	雨天中止・車で搬入可

タッチパネル・システムズ株式会社



新横浜駅から程近い近代的なビルのなかに、業界大手の「タッチパネル・システムズ株式会社」の本社があります。今から16年前に設立されたこの会社は、日本国内をはじめ、世界各国に顧客を持ち、駅の券売機や、銀行のATM、ゲーム機などモニター画面に触れて操作する「タッチパネル」を開発・製造・販売しています。

会社の入り口もタッチパネルで受付、担当者の呼び出しができるようになっている、そんな時代の最先端をいくこの会社で「ごみGメン」と呼ばれる3人に話を伺いました。



人事総務部の「ごみGメン」左から豊嶋さん、大林部長、岡田さん

リサイクルに取り組むようになったきっかけは何でしょうか？

2年前、企業も環境に配慮しなければという世界からの流れで、ISO14001をとるために講習を受けたのがはじまりです。取り組んでいるのは、節電・節水・紙・缶・びん・ペットボトル・一般ごみ・部品や梱包材などのリサイクルです。ISOの基準値があるので、それに準じています。

わが社は何か一つ目標が定まるとそれに向かって突き進むというのが社風になっています。プロジェクトチームを組んで、ISO14001の資格を取ることを目標に、60人の社員に、具体的な目標数字を通知して周知することからはじめました。各々の業務が多忙な中、活動して取得できました。私たち自身、以前はごみの出し方など気にしていなかったのですが、やっていくうちに、環境にいいことをやっているんだという実感がわいてきました

た。1年でごみの量が約半分になって資格も取れたので、いまではすっかりハマ

ってしまい「ごみGメン」と呼ばれるまでになりました。

Gメンとしての活動はどのようなことをしているのですか？

古紙回収など資源回収を徹底させるのはもちろん、社内に設置してある飲料自販機を節電タイプに替えたり、トイレに『音姫(節水のための機械)』を導入したり、ごみの重さを量ってチェックしたりしています。分別用ごみ箱、水回り、電気スイッチのそばにはカラフルなステッカーを貼り、環境への配慮を促しています。

また2か月に1度『資源有効活用チェック』というごみの出し方や、リサイクルの貢献度、節電、節水の意識の持ち方を調べるレポートを各社員のパソコンにメールで送り、部署ごとに結果をまとめて、ISO取得後の継続的な活動の一つとして社内会議でも報告しています。社内連絡にメールを使うのも、紙を必要以上使わないことに繋がっていると思います。そしてたまに抜き打ちでごみ箱の中身を改めて『このごみ、

捨てたの誰よー！』なんて問い詰めたりにして恐れられています(笑)。

そんな努力のかいがあって、社員の環境に関する意識もあがって、なるべくごみを出さないように気をつけたり、分別で迷う時に質問されたりするようになりました。そんなときに横浜資源化協議会は私たちに判断できないことにも答えてくれるので心強い味方です。

当初の目的であったISOの資格を取るという目標を短期間で達成した今、次に目指すのは『質』。ごみの分別でリサイクル、ファイルやボールペンなど事務用品のリユース、そしてこれから取り組みたいと考えるリデュース。工夫を凝らして楽しみつつ、真剣に環境に取り組む『ごみGメン』の笑顔に輝く未来が見えました。



牛乳パックから
生まれた紙ひも

こむすび
小結くん で古紙をしばれば
まるごとリサイクル



1巻きの長さ90m		価格(税込)	送料
バラ売り		1巻230円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱10500円 (1巻210円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 8500円 (1巻170円)	

※振込手数料をご負担ください

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-444-2531/FAX045-444-2532

小結くん販売場所 ●横浜市青葉区・緑区・磯子区・都筑区・鶴見区・神奈川区・保土ヶ谷区・中区・瀬谷区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●コミュニティストアすすきや(戸塚区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●武松商事(中区) ●村松商店(鶴見区生麦) ●おおぐち通商店街事務所(神奈川区) ●ぶらむろーど杉田商店街事務所(磯子区) ●バラエティかはし屋(神奈川区) ●どりーむ横浜二番館(西区)

販売してくださるお店募集中!



ただいま子育て奮闘中!

その31

プロフィール

● 鶴田由紀 横浜市在住 訳書(共訳)に「生物多様性の危機」(ヴァンダナ・シヴァ著 明石書店)。「ただいま〜」は環境配慮の視点から子供と育児を取り巻く状況を考える隔月連載エッセイ。

子どもの靴

物の豊かな時代なのに



子どもの頃、どんな靴を履いていましたか? 昔は家が豊かじゃなかったり、物が豊富じゃなかったりして、子どもの靴にそんなにお金かけませんでしたよね? 足の形に合わない靴とか、大きめの靴とか、お下がりとか、足の方を靴に無理に合わせるようなかんじじゃありませんでしたか?

今はたいていの家庭で子どもにお金をかけるようになったし、物があふれているし、子どもの靴なんてより取り見取りだろうと思っていました。でも、いざ探してみると、ジャストな靴ってなかなかないものなんです。

生後10ヶ月で歩き始めたうちの息子は、1歳になる前にいわゆるファーストシューズってやつを買いました。高島屋の靴売り場で買った革製のやわらかいベビーシューズは、サイズもぴったりで赤ちゃんの足にやさしいものでした。

でもそんな靴は、足が大きくなってすぐに履けなくなってしまいうし、靴の裏側が柔らかくて沢山歩く

のに向かないので、すぐに小さな運動靴を履かせるようになります。さてそうすると、足に

あったものを探すのが一苦労です。だって子どもの靴って、たいていのメー



子どもの足のことをもっと考えよう



大人の靴は5ミリ刻みでしょ。私は23.5センチなんですが、そういう〇〇.5というのがなかなかないのです。周りを見回してみると、大きいサイズでもあんまり気にしないで履かせているお母さんも多いようですが、大人だって1センチや5ミリ大きい靴は歩きにくいでしょ。まして足の大きさが13センチやそこいらの幼児にとっては5ミリの違いは大変な違いです。子どもの足はすぐに大きくなると思ってのことでしょうが5ミリ成長するのに半年はかかります。長さも幅も甲の高さも大きいわけですから、まあ言ったらその間ずっとぶかぶかなわけです。

幼稚園に入ると、上履きにバレエシューズというのを履く場合が多いのですが、これがもっとたちが悪い。外履きの運動靴ならバンドで閉めるタイプで多少の大きさをカバーできるのですが、バレエシューズはジャストサイズじゃないと、ぶかぶかで脱げてしまうのです。

カーは1センチ刻みでしか作っていないのです。

危ないから大き目を買わないで、などと幼稚園から言われても、普通の靴屋さんには1センチ刻みでしか売ってないんだから、お手上げです。

それと、どういうわけか、硬い靴が多い。子どもには特に柔らかいものを履かせたいと思うのですが、なんだかちがちの靴ばかりです。私自身、足に合わない靴のせいで軽い外反母趾になっているので、自分の子どもの足には負担をかけない靴を選んでやりたいと思っています。新しい靴を買うときは、もう大騒ぎで、あちこちの小売店やメーカーに電話したり、店頭を回ったり、ネットで探したりします。

近頃はどうか納得のいくメーカーと種類を見つけて、その靴ばかりを買っていますが、どうして子どもの靴のサイズや固さがもっと問題ならいいのかしらと思っています。小さな子どもは文句言わないから、大人は気がつかないのでしょうか。



環境を考えるなら、まず自分の“手元”から

デザイン一新、一目でわかる“リサイクルブランド”

牛乳パックは、飲む→洗う→乾かす→リサイクルデザインボックスティッシュに→使う

残念ながら一度使ったティッシュはリサイクルには向きません。使い捨てなら再生品を!

リサイクルデザインボックスティッシュ



200組400枚入り/1個

1ケース50個入り(5個1組×10/パック) 3,675円(価格は市内送料・税込みです)
*ご注文は1ケース以上でお願いします。11ケース以上の場合、1ケースあたり3,465円になります。1パック(5個)あたりに換算すると347円から368円です。
*市外への発送は別途料金がかかります。

もったいない! ティッシュは使い捨て!? だから作りました“牛乳パック100%の再生品”

グループ購入のおすすめ

「10パック(50個)は、多すぎる」と思ったあなた。グループ購入という方法もありますよ。

例えば5人で購入すれば、1件(1家族)あたり2パック(10個)というほど良い数。町内会や子供会などおおぜいの仲間を集めれば、一度に大量購入もできるかも。11ケース以上だと、お得な割引価格になります。玄関先までお届けしますので、たいへん便利です。

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話/045-444-2531
FAX/045-444-2532

第11回リサイクルデザインフォーラム



子どもたちとともに、幅広い世代でリサイクルや自然環境の大切さについて考え学びあうことを目的に始めたリサイクルデザインフォーラム。今年で11回目を迎えました。テーマは、古くて新しいキーワード『もったいない』です。夏休みに私たちが募集した『環境絵日記』に応募してくれた人はもちろん、そうでない人もぜひ一度ご参加ください。秋の一日、楽しく遊びながらリサイクルや環境について学ぶチャンスです。



昨年のフォーラムの様子（分別体験）

それ行け！ りくみちゃん【第9話】

1 夏ももう終わり…連日の猛暑もラスト・スパート！な今日この頃。

そろそろ、この風鈴も片付けるくみちゃん！

2 もうすぐ来る秋のために、夏に大活躍した道具たちをきちんと掃除しておきます。

来年も、ヨロシクくみちゃん！

窓にかけていた「よしず」は、キッチンとホコリをふいてから、しましましょう

3 それにしても、りくみちゃんはクーラーは使わなかったの？

クーラーをほとんど使わずにすんだのは…コレのおかげくみちゃん！

4 後姿↓

今のうちに、このうちわを来年バジョンに書き換えておくくみちゃん！

『来年もエコな夏にするくみちゃん！』
…とちょっと気の早いりくみちゃんでした♪

日時：10月23日（日） 11時～16時

会場：横浜市中区大根橋CIQプラザ（山下公園北側）

みなとみらい線日本大通り駅下車徒歩5分、
（地下鉄およびJR関内駅下車徒歩15分）

催し物の内容

《ステージエリア》

●大人向けパネルディスカッション

パネラー：熊本一規氏（明治学院大学教授）

大内えりか氏（環境省公認環境カウンセラー）

進行役：武松昭男（横浜市資源リサイクル事業協同組合） テーマ：未定

●子ども環境活動発表会

現在参加団体募集中！ 学校関係のほか、子供会などのグループでの環境問題やリサイクルに関する取り組みをステージで発表してみませんか？

●環境絵日記発表会・表彰式

今年の環境絵日記に応募された方全員に、当日“参加賞”を会場にてお渡しします。

●子ども環境会議 『中田市長と話そう！ “もったいない”って何？』

《イベントエリア》

●“もったいない”って何？コーナー

『“もったいない”ってどういう意味？

もったいないと思う時は？』アンケートの結果発表

もったいない活動紹介など パネル展

●環境絵日記展示コーナー

●3Rコーナー

●エコ買い物ゲーム

●G30分別体験コーナー

ゲーム&クイズ形式。難易度も設定し

“あなたの分別レベル”を確かめられるよ。

スタンプラリー形式で開催します。

全部クリアしたら参加賞と

“もったいない達人認定証”（仮）をプレゼント！

●リサイクル工作体験

資源物を使つての工作体験。紙すきほか企画中。

●ゲームコーナー

缶つりゲーム・バルーンアート

●協賛企業紹介コーナー

●組合活動展示コーナー

●資源化センター紹介コーナー

アンケートにご協力下さい！

次のふたつのテーマについて、あなたのご意見をお寄せ下さい。1.の回答は今後の本誌企画に活用し、2.の結果はフォーラム当日にイベントエリアで発表します。

1. リサイクルの小さな疑問

10分別15品目の分別について、こんなことがわからない、これって変じゃない？ と思いのことはありますか？ 組合が誠意をもって回答させていただきます。どんなことでも構いませんので、ご遠慮なく！

例／汚れた衣類をまとめて家庭ごみの日に出してお

いたら、持って行ってくれなかった。どうすればいいの？

2. あなたが“もったいない”と思うこと

あなたは、どんな場面で“もったいない”と思いますか？ 家庭で、職場で、学校で……、様々な場面であなたが感じるもったいないことをおしえてください。かつて自分がしてしまった“もったいない”ことの反省でも結構です。

例／子どもの上履き、名前が書いてあるのでお下がりできない。まだ全然傷んでなくて捨てるのは気が引けるし、どうしよう。

●締めきり：9月20日

●ファックス、Eメールにてお送りください。

ファックス／045-444-2533

Eメール／mail@recycledesign.or.jp



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2005年7月現在
日経7/38

品名	買入価格 1キロ当たり	業者の売値 1キロ当たり
新聞	*** 0円	5円
雑誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

- * 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料
- *** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格
- ★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。取引条件により多少変化します。
- ★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。
- ★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。
- ★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかにも車いす(250kg)にも交換できます。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

8月は4回ほど、戸塚区の「ヨコハマはG30」のイベントに参加してきました。今回のお手伝いは分別体験でした。東戸塚のオーロラモールでのイベントでしたので、戸塚区民の参加がほとんどでしたが、分別体験をした人の中には、東京や川崎といった他都市の方もいらつしました。参加者の多くが、「難しい」「わかりにくい」といった感想を持たれたようです。パフェクト(全周正解)が結構でるかな〜と思っていましたが、これがなかなか……。しかし、最後には「とても勉強になる」「疑問があっても、普段なかなか聞くことができないので良かった」などのありがたいお言葉をいただきました。中には連続して参加し、「昨日は出来たところがどうして今日できなかったんだろう」と真剣に悩む子どもの姿も……。夏休みなので、小学生の参加も多かったイベントでした。

編集室から

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料で送付いたします。

リサイクルデザインのビデオ 「未来を生み出すリサイクル」

このビデオは、暮らしの中から出る資源物(古紙・空きカン等)がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。



「リサイクル」のホームページ <http://www.recycledesign.or.jp>

FAX 045-444-2533 (編集室)

Eメール mail@recycledesign.or.jp

詳しいことは

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ●グリーンバザール(南区六ツ川) ●地酒 篠原屋(港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ●相鉄ローゼンミツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・ひかりが丘店・希望が丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安店・十日市場店・上星川店 ●マイカル天王町サティ店 ●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ●カフェ社(港北区日吉) ●きまま舎(緑区霧が丘) ●うどんカフェ(青葉区こどもの国) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生協同組合大会館店・工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町) ●リセールショップ遊民 ●WEショップ旭 ●WEショップかながわ大口店 ●WEショップかながわ六角橋店 ●WEショップこうほく ●WEショップほどがや天王町店 ●WEショップちがさき店 ●WEショップちがさき十間坂店

月刊 リサイクルデザイン No.132

発行日: 2005年8月25日

発行人: 秋元康男

編集人: 工藤健一

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒221-0054

横浜市神奈川区山内町13番地

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2533 (編集室)

制作: (企) エコ・アド

印刷: (株) 横浜プリント

